

profile

よしもと興業芸人 濱田祐太郎 はまだゆうたろう



約3万人に1人の割合で発症する先天性緑内障のため生まれつき左目が見えず、右目も明暗がわかる程度。小学6年の秋、テレビでしゃべり漫才を聴いてお笑いに夢中になり、中学生のとき芸人になる決意をする。

両親から「何ゆうてんの？」と諭されるが諦めず、最終的に「好きにしたらええよ」と認めてもらう。

高校は兵庫県立視覚特別支援学校に進学、三療（あんまマッサージ指圧・鍼・灸）の国家資格を取得する。卒業後はマッサージのアルバイトをして授業料40万円を貯め、2012年4月、大阪NSC35期生として入学。翌2013年4月に漫談家としてデビュー。

2017年6月から「よしもと漫才劇場」の出場権を得て月に2~3回若手がネタを披露するライブに出演。またNHK新人お笑い大賞で決勝進出を果たす。

視覚障害者のあるあるネタ、盲学校あるあるネタ得意とし、2018年のR-1ぐらんぷりで16代目の王者となる。

ふしちと広島芸人



あらきあきゆき

兵庫県尼崎市出身
趣味はカーブ観戦
特技はカーブトークの
自称カーブ芸人



ポールボイ佐竹

広島市出身
自称カーブ芸人
シェイカーを振って
カクテルを作れる特技を持つ

フロントライン



広島市出身、石原誠（左）と
尾道市出身、古島拓大（右）のコンビ
石原の特技は大型トラックの運転
古島の特技はプロ野球選手の出身校を
暗記していること



クレメンス

廿日市市出身で野球観戦が趣味のりょーま（左）と
尾道市出身で野球が特技の福山達平（右）のコンビ

